



開物成務

2007年度
(社)鳥取青年会議所
広報誌 6月号



写真:浦富海岸...「日本の渚百選」などに選ばれている日本海屈指の自然景勝地。海岸西部には断崖、奇岩、洞門が続き、海面上に大小の島や岩が散在する風景が宮城県の松島に似ている事から「山陰の松島」と呼ばれる事もある。海岸東部には遠浅の砂浜が広がり、夏は海水浴場としてにぎわう。

因幡

INNOVA [ina:va]
変革

鳥取青年会議所
URL <http://torijc.main.jp>
E-mail torijc@hal.ne.jp

六月 理事長挨拶 安陪 幸伸

あまり明るい話題ではありませんが巷のニュースでは、年金問題が話題になっています。社会保険庁の年金記録五千万件分が、誰のものか分からなくなっているとの重大事件であります。このニュースが出てからも未処理記録が発覚したりと、なんともお粗末どころか腹立たしい問題であります。本来老後の生活保障として、まじめに収めた年金記録がないわけですから、将来の安心がもてないわけですし、その理由が国にあるという事が納得のいかない話題でありました。是非ともこの問題は早急に解決して国民の安心を取り戻してほしいものです。

また、国だけでなく民間企業においても似たようなニュースがありました。訪問介護最大手の企業が、その事業に関して水増しもしくは不正請求をしていたことです。社会において弱者の位置にいる要介護者に対してあるまじき行為であります。このように官庁であったり大手企業であったり、どうしてこんな事を起こすのでしょうか。国が正確にそして迅速に事務手続きと処理を行なっていれば、そして企業はその利用者に対して誠意を持って接していれば不正請求をしようなどとは思わなかったでしょう。結局は国にしろ企業にしろ処理をするのは個人であるわけですから、そこに勤める人達が不正を許さなかったり、事務処理の先送りやあいまいな処理をしなければ、とは思いますが、両方とも大きな社会問題へと発展してしまいます。その原因は実はちよつとした気の緩みや、適当にしているも発覚して他人に判らなければいけません。といった、個人の意識のずれではないでしょうか。また、社会保障や介護といったことは、保障を受ける人や介護を受ける人の立場になってその生活を手助けをしたり保護をするのが目的です。そこに勤めている人達がそういった基本的考えが欠落していたように思えてなりません。福祉や介護の原点は人を思いやる優しい心や思いやりの精神だと私は思っています。それが今の日本には少しばかり欠けているか、もしくは忘れてしまっているのではないのでしょうか。

2007年度 日本JCスローガン 「日本の力」発信! 理想国家日本の創造に向けて!

2007年度 鳥取JCスローガン 目標を見定め「我」実行せん!

■ まちづくりの仲間紹介 ■

毎月、鳥取県東部で活躍されているまちづくり団体をご紹介します

< 久松山を考える会 >

1994年に結成(濱田繁治会長)。現在12名のメンバーで久松山の歴史・自然について研究し、毎年春には久松山自然と歴史の登山を行い、より多くの市民に保全と利活用を呼びかけています。

また鳥取城復元基金を行い、鳥取城跡の市民参画による保全整備も呼びかけています。

お問合せ先
久松山を考える会 TEL 0857-24-6353

まちづくりイベント情報

< しゃんしゃん祭り「因幡市民連」募集 >

8月11日(土)に開催される第43回しゃんしゃん祭一斉傘踊りでどなたでも参加できる「因幡市民連」を作りました。今まで参加するきっかけの無かった方、私たちと郷土の文化を体感しませんか。

- ◆募集要項
 - ・所定のコースを踊りきれの方
 - ・少人数の為連として参加できず困っておられる方
 - ・数回の練習に参加できる方(踊れる方ももちろんOK)
 - ・小学生以下の方は保護者同伴をお願いします

- ◆定員100名 参加費:無料
傘はこちらで準備します。
- ◆応募締切 7月28日(土)

お申し込み・お問い合わせ
(社)鳥取青年会議所
TEL 0857-24-1638 torijc@hal.ne.jp

< 石谷コレクション展 >

2007年6月2日~7月1日9:00~17:00
(土曜日は19:00まで開館)※会期中は無休
開催場所: 鳥取市 鳥取県立博物館
料金: 一般300円、高校生以下無料
問い合わせ先: 鳥取県立博物館 0857-26-8042

平成17年度に鳥取県智頭町の石谷家より、書画および陶磁器などの工芸品併せて300件を超す作品が同館に寄贈されました。今回の作品は、同家に代々伝えられたもので、与謝蕪村や曾我籙白などの江戸時代の絵画をはじめ、日本・中国の書跡や、近代の京焼を中心とする陶磁器などの工芸品等、広範囲にわたっています。同展では、新しく収集されたコレクションを中心に、選りすぐりの名品が展示されます。

○ 事業のお知らせ ○

「鳥取市長マニフェスト」市民検証・評価大会 鳥取市長マニフェスト評価委員募集

鳥取市の竹内市長が昨年4月にマニフェストを掲げ、2期目の市政がスタートして1年が経過致しました。鳥取市長選挙の際に竹内市長が市民に対して約束した政策目標が、現在どの程度まで進行し実現・達成できているのかを、有権者や市民の立場から検証及び評価を行うことによりマニフェスト型地域経営の定着そして発展を目指すと共に、真の地方分権を推進し、より一層住民の参政意識・社会参画への意識向上を図ることが出来ると考えています。以上の事を目的として中立・公正な立場で竹内市長マニフェストを検証・評価出来る方を募集しております。

地域経済・教育・福祉といった、まちづくり活動等に関心を持つ経営者・会社員・主婦・学生や各種団体等、どなたでも応募できますので、下記の要項をご確認のうえご応募下さい。

- ◆募集要項
 - 鳥取市長マニフェスト評価委員は次のいずれにも該当する方の中から、主催者の選考によって決定します。
 - 1, 趣旨・目的にご賛同いただけること。
 - 2, 地方自治・行政に関心を有し、住民自治を推進するために政策中心の政治・行政を実現する意欲があること。
 - 3, 鳥取市に住民票がある18歳以上の男女で鳥取市に在住されている方。
 - 4, 7月13日(金)、19日(木)、26日(木)の計3回の勉強会、8月19日の「鳥取市長マニフェスト」市民検証・評価大会に参加できる方。
 - 5, その他、鳥取市長マニフェスト評価委員として不適当と認められる事情がないこと。

- ◆募集定員 10名
応募者が多数となった場合、地域・職業・関心分野等のバランスなどを考慮して選考致します。こちらから送らせていただきます別紙申込書をご返信いただき、公正な審査後に後日連絡をさせていただきます。

- ◆応募締切 2007年 6月30日(土)
※選考に関して、面接や電話ヒアリングを行う場合があります。
※選考の過程で応募の事実及び応募者の個人情報(外部に公表する事はありません。ただし、鳥取市長マニフェスト評価委員として決定された場合は、氏名等を公表することをご了承下さい。

詳細はホームページをご覧ください。 <http://torijc.main.jp>

お申し込み・お問い合わせ
(社)鳥取青年会議所 担当: 山根、小池
TEL 0857-24-1638 torijc@hal.ne.jp

◆ 今月の表題 ◆

開物成務・・・かいぶつせいむ

「物を開き務めを成す」と読む。いろいろなことを解明し、果たすべき事業を完成させる意味。「開成」の語源。
参照・・・「四字熟語」これだけ辞典

今日のテーマ 「ふるさと発信」

鳥取青年会議所は鳥取砂丘の活性化や麒麟獅子フエタ、東部の広域連携といった、地元の伝統・歴史・文化・自然を活かしたまちづくりに取り組みました。



《左》2006年度 因幡「城跡」フォーラム開催
2005年度 鳥取三十二万石お城祭りにて一夜城を築城《右》

◆今年の活動

ふるさと発信委員会
委員長 高藤 大祐

2007年度ふるさと発信委員会は、地域の人達と共に自分達のまちを再認識し愛着心を育み広く伝える事をテーマに、日々委員会でも話し合い、調査し、研究しております。私たちの住む、ここ因幡地域には素晴らしい魅力が沢山あり、伝統、文化、自然など、発信すべきものは、数え切れません。

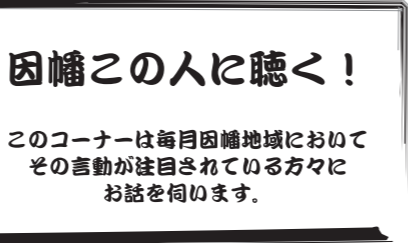
また、無い物がない今の時代だからこそ、もう一度、自分達のまちを再認識する事がまずは、必要なのではないでしょうか。探すのではなく、自分達のごく身近に有るものをもう一度見直し、磨く事が出来れば今より更に魅力あるまちになっていくのではないのでしょうか。

我々、ふるさと発信委員会は、更なる魅力ある因幡を目指し、元気で活気あるまちになる為に何が必要かを見定めそれに向かって進んでまいります。この溢れる因幡の素晴らしさを広く発信、伝えていくのは私たち一人一人であると考えます。

◆過去の取り組み

過去の活動の一部をご紹介します。

- 1971 袋川美化問題を市長と語る会
- 1973 誕生400年記念祭
- 1974 袋川に鯉を育てる集い
- 袋川8田撮影
- 第2回鯉一万匹放流
- 15周年記念事業
- 1975 袋川ポスター展
- 袋川パトロール
- 1976 袋川清掃、鯉の放流
- 袋川清掃
- 1976 鯉の放流
- 1978 「郷土の文化」講演会
- 袋川清掃
- 砂丘美化点検パトロール
- 1979 袋川清掃
- 1980 袋川美化推進パトロール
- 袋川鯉の放流、清掃
- まちづくりシンポジウム
- 1982 東部経済圏を
- 1983 考えるシンポジウム
- 「歩こう・知ろう・ふるさとへの路」
- 1986 ふる里音楽祭
- 1987 OPEN UP
- 1988 TOMORROW
- 1989 おもちゃ博協賛事業
- 30周年記念事業
- (21世紀の鳥取を)
- 1990 考える市民フォーラム
- 「パークシティー構想」
- 砂丘かけフォーラム
- 砂丘シンポジウム
- (砂丘週間)
- 1991 砂丘写真展(砂丘週間)
- 砂丘横断クイズ
- (砂丘週間)
- 1991 91鳥取砂丘
- 草抜き集い
- 1992 因幡の郷づくり
- いなばの郷づくりフォーラム
- 92鳥取砂丘
- 草抜きの集い
- 「いなばの郷づくり」
- 資料冊子作成
- 1993 砂かけフォーラム
- 因幡デザインマップ作製
- 1994 因幡ツインポート
- ストーリー」作成
- フォーラム因幡、94
- 砂かけフォーラムの運営
- 砂漠緑化アワー
- 1995 「因幡の国づくり」
- 中・長期ビジョンの策定
- 砂丘博物館構想の推進
- (パンフレットの作成)
- 麒麟獅子フエタ
- i n 因幡、95
- i n 因幡、95
- 麒麟獅子アワー
- 「因幡市誕生物語」製作
- 1996 砂かけフォーラム運営
- 麒麟獅子フエタ
- i n 鳥取砂丘、96
- 合併問題を考える集い
- 因幡発50億人への夢発信
- (仮想砂丘博物館開設)
- ときめき夢砂丘、97
- 1997 砂かけフォーラムの運営
- 砂丘アワー、竹内芳親
- 先生からのメッセージ
- 麒麟獅子フエタ、97
- 「21鳥取JCビジョン」
- マルチフォーラム
- 1998 砂かけフォーラムの運営
- 麒麟獅子フエタ
- 麒麟獅子の舞う
- 里の交流 i n おかげ
- 1999 創立40周年記念事業
- 分科会
- ワークショップ「わくわくDESCOVER因幡」
- 15市町村の未来のために
- 砂かけフォーラム
- 「発掘砂丘大辞典」
- 1999 麒麟獅子フエタ
- 1999 i n 河原
- 愛・夢・絆・やさしさ
- と勇気のシンフォニー
- (創立40周年記念事業)
- 業因幡市民フォーラム
- INNOVA21
- 新因幡共創への架け橋
- 「因幡市民憲章」の起草
- 2000 夢砂丘伝説アワー
- 世紀越え i n 鳥取砂丘
- 麒麟獅子フエタ2000
- i n 権現まつり
- 2001 まちは舞台だ、因幡はひとつ!
- 鳥取しゃんしゃん祭りへの参加
- 共創と発信「眠らない鳥取砂丘」砂丘祭、01
- 麒麟獅子フエタ
- SAKYU座談会
- 「世界遺産に挑戦」
- 2002 夢砂丘プロジェクト、02
- 「新たなふるさと砂丘の姿を目指して」
- 新因幡グリーンツリー
- 2003 スム大作戦パートII
- 都市と山村の交流
- フォーラム
- 麒麟獅子フエタ、02
- (因幡のアイデンティティの表現と発信!)
- 2003 夢砂丘プロジェクト、03
- 「鳥取砂丘プロジェクト」
- 2004 ビーチサッカ大会
- 麒麟獅子フエタ、03
- i n いわみく 伝えよう!
- 因幡の文化と平和の心を
- 麒麟獅子カレンダー
- (因幡麒麟の王国)の作成
- 2004 因幡市民共創運動の
- 推進と中期運動
- ビジョンの策定と発信
- 砂丘画廊「想いをカタチに
- カタチ」から「想いへ」
- 麒麟獅子フエタ、04
- &食の祭典
- ふるさと文化を
- 鳥取お城まつりへの参画
- 2006 因幡「城跡」フォーラム



今月は「ふるさと発信」をテーマに観光交通(株)代表取締役福本登氏と安陪理事長が対談を行いました。

福本登氏 プロフィール
観光交通(株)代表取締役
1986年度鳥取青年会議所理事

安陪/福本先輩は今まで様々な形でまちづくりに取り組んでこられています。今日はまちづくりへの想いや経験談などをお聞かせいただきたいと思います。2009年に因幡の祭典がありますね。先輩も関わっておられますが、鳥取市が力を入れて市民共同で取り組もうと市長も声を上げておられます。



《 福本登氏 》

安陪/多くの団体が関わっていますね。音頭は行政です。音がまく機能すれば今後のまち全体の活性化にもつながっていくと思います。福本/そこが一番大切なことです。以前のおもちゃ博と似た組織ですね。どこかが中心でやっていき、今後に何を残していくのかを考えると残さなければなりません。運動体としてそういった取り組みを続けていくことですね。今回も同じです。次の世代に任せていかなければならないのです。私は地域を思うことはJCで教わって、学んだことは全部頭の中に残っています。そしてそれを地域に還元したいと思っています。若い方々が出てきて欲しいと思っています。安陪/因幡の祭典ですが、経済効果や収益といったあたりはどうでしょうか。ボランティアだけでなく経済の活性化、経済効果という視点ははずせないと思います。

福本/少し話は変わりますが、私たちのころは経済状況がいい時期でした。日本全体が勢いがありました。指導力開発と地域開発、このふたつがJCの重要なところで、いつも考えていたのは自分たちの企業があつて社員があつて、そだ、ということですね。JCをやったことは社員に伝えてましたし、ちゃんとした経営がしたいという考えがありました。今は個々の手腕とかいう次元ではないと思いますよ。社会全体の活性化を図らなければなりません。私が着目したのは高速道路でした。そこから経済が動くのではないかと考えるからです。その歯車としての因幡の祭典であるべきで、夢を共有するプランを皆で結びつけていきたいと思っています。安陪/大きなチャンス、機会ですね。福本/今は観光など自分が売りたいものしか売らないように感じます。時代のニーズにあつたものを売つていかなければならないですね。そういった面で、世の中に物申すのはやはりJCしかないと思いますから期待しています。安陪/JCの存在意義を伝えなければならぬですね。城下町を活かした取り組みやしゃんしゃん祭りといった歴史も有り良いもの、そして文化でもあるもの、しっかりと広めて行きたいと考えています。



《 安陪幸伸理事長 》

福本/しゃんしゃん祭りは2年前から携わっています。前任の山中さんから引き継いだものです。それまでは関わった事が無く、まずは組織を調べました。祭りはみんなが楽しくというのが基本で、まずは振興会と実行委員会とのふたつの組織をひとつにしました。そして去年からは部会制にしました。鈴の音と城下町とを結び付けて新しい祭り文化を創りたいという思いでやっています。文化が感じられるものを作りたいですね。それが日本を代表するものにと市長が言いわれるように、因幡に根付いたものにしたいです。しかし5年、10年かかるでしょうね。根この部分をぜひJCには引き継いでもらいたいです。歴史は創れるが文化はなかなか創れないので、新しい祭り文化を創つていって下さい。それが県外から人が来てくれるきっかけとなるはずですね。みんながやってくれること、がなにより必要です。

安陪/私たちも、もっと勉強することが必要ですね。福本/まちづくりをするうえで内なる力と外なる力があつて、地域をどうしていくか考えることが何より大切です。組織論も必要ですが、内に向けてではなく外に向けて取り組んでください。JCが変わればまちも変わります。JCはトレーニングの量が違うと思っています。もつと前に出てきて欲しいです。しゃんしゃん祭りや因幡の祭典は後輩たちに任せて行きたいと思っています。みんなは期待していると思いますのでぜひ頑張ってください。安陪/私たちも、もつと声を出していかなければならないと思っています。本日はありがとうございます。

